

ふぐの日フォーラム基調講演
世界文化遺産登録記念

平戸市の精神文化と産業

～今に生きるかくれキリシタンと海の恩恵～

平戸市長 黒田成彦



本日の話題

1 **世界遺産とは何か**

2 「長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連
遺産」の**価値**

3 俗説の「かくれキリシ
タン」像への**反論**

4 生月町における**宗教の
連続性・共存システム
と海の恩恵**

5 時空を超えた**奇跡**

6 **まとめ**

1

世界遺産とは何か



世界文化遺産の定義

- 地球や人びとの歴史が作りだしてきた「世界の宝物」のことで、**顕著で普遍的な価値を持つ不動産**が対象となる。
- 6個の**評価基準**のうち、少なくともひとつ以上を満たすこと。（評価基準10個のうち、文化遺産に関連するのは6個）
- **完全性**（資産に過不足がないか） ・ **真実性**（資産は本物か） を満たすこと。
- 万全の**保護措置**がとられていること。



現在までの国内の世界遺産リスト (2018.7現在)

- 世界遺産 **1092**件 (文化遺産845,自然遺産209,複合遺産38)
- うち日本には **22**件 (文化遺産18,自然遺産4)

- | | |
|---|---|
| 1 法隆寺地域の仏教建造物(1993年)
<small>ほうりゅうじ ぶつきょうけんぞうぶつ</small> | 12 紀伊山地の霊場と参詣道(2004年)
<small>きい れいじょう さんけいみち</small> |
| 2 姫路城(1993年)
<small>ひめ じじょう</small> | 13 知床(2005年)
<small>しれとこ</small> |
| 3 屋久島(1993年)
<small>やくしま</small> | 14 石見銀山遺跡とその文化的景観(2007年)
<small>いしけんぎんざん ぶんかてきけいかん</small> |
| 4 白神山地(1993年)
<small>しらかみさんち</small> | 15 平泉(2011年)
<small>ひらいずみ</small> |
| 5 古都京都の文化財(1994年)
<small>ふんかざい</small> | 16 小笠原諸島(2011年)
<small>おがさわらしょとう</small> |
| 6 白川郷・五箇山の合掌造り集落(1995年)
<small>しらかわごう をかやま がっしょうづく</small> | 17 富士山(2013年)
<small>ふじさん</small> |
| 7 原爆ドーム(1996年)
<small>げんぱく</small> | 18 富岡製糸場と絹産業遺産群(2014年)
<small>とみおかせい しじょう きぬさんぎょう</small> |
| 8 厳島神社(1996年)
<small>いつくしま</small> | 19 明治日本の産業革命遺産(2015年)
(長崎県ほか) |
| 9 古都奈良の文化財(1998年)
<small>なら</small> | 20 ル・コルビュジエの建築作品(2016年)
<small>けんちく</small> |
| 10 日光の社寺(1999年)
<small>にっこう</small> | 21 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群(2017年)
<small>むなかた おき</small> |
| 11 琉球王国のグスク及び関連遺産群(2000年)
<small>りゅうきゅう およ ぐん</small> | 22 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産(2018年) |





長崎県における世界遺産登録への胎動

- 2001年（H13）長崎の教会群を世界遺産にする会発足
- 2007年（H19）**世界遺産暫定リスト**に記載（全20資産）
- 2010年（H22）構成資産候補が29資産まで増える。
- 2012年（H24）天草が加わり13資産に絞られる。
- 2013年（H25）**推薦見送り**（産業革命遺産が選ばれる）
- 2014年（H26）教会群が国内推薦（14資産）
- 2015年（H27）イコモス調査を受ける。
- 2016年（H28）2月、イコモスの指摘を受け**取り下げ**。
- 2016年（H28）**イコモス等の助言を受けて12資産**に。
- 2018年（H30）5月、イコモスから**記載勧告**がでる。
- 2018年（H30）7月、**世界文化遺産に登録**される。

2

「長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連 遺産」の価値





イコモス勧告のショック

イコモス調査の結果、教会群を構成していた14資産のうち、次の2資産について除外することを決定。

- **日野江城跡** (南島原市)
- **田平天主堂** (平戸市)

2資産とも、他の資産と比べて**禁教期との関連性が薄い**ことが理由であった。

長崎新聞 昭和21年12月15日第3種郵便物

日野江城跡



教会群の構成資産から除外される事となった「日野江城跡」(南島原市)
||上||と、田平天主堂(平戸市)

田平天主堂

5/24 (4)

教会群2資産除外へ

世界遺産 県、イコモスと協議

2018年の世界文化遺産登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、県は23日までに、本県と熊本県の14構成資産のうち、キリスト教の信仰が禁じられた時期と関係が薄い「日野江城跡(南島原市)」と「田平天主堂」(平戸市)の2件を除外する方針を固めた。

【25面に関連記事】

県が設置した有識者の「たい考え」。

「長崎世界遺産学術委員会」が21日、東京で非公開会合を開き、除外の方針を承認した。構成資産を持つ関係自治体で構成する世界遺産登録推進会議を月内にも開き、南島原、平戸両市の同意を得た上で正式に決定し、助言を受けながら構成資産

ユネスコ諮問機関の国際記念物遺跡会議(イコモス)は1月、教会群の推薦書を禁教期中心の内容に改めるよう指摘。政府が2月、推薦を取り下げた。県はイコモスとアドバイザー契約を結び、



「教会群」から「集落」への名称変更

長崎の教会群とキリスト教関連遺産

- キリスト教の伝来と繁栄、弾圧と潜伏、そして復活という独自の歴史を物語る14資産からなる。
- これらの歴史を象徴している**教会堂に価値**がある。



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

- 宣教師不在の中で育まれた日本独自の宗教的伝統を物語る12資産からなる。
- 潜伏が始まったきっかけから、潜伏が終わりを迎えるまでの歴史を物語る**集落に価値**がある。





「日野江城跡」と「田平天主堂」が 取り下げられた理由



布教期

(1550～1637)

日野江城跡

禁教期

(1637～1865信徒発見)

世界遺産として価値が認められる範囲
イコモス：禁教期に焦点をあてるべき

復活期

(1865～現在)

田平天主堂

- **（日野江城跡）** 布教期のみの資産であり、禁教期の潜伏キリシタンと直接的な関連がないため除外。
- **（田平天主堂）** 禁教期の潜伏キリシタンとの関連が薄く、明治以降の移住による集落であるため除外。

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連資産





ついに登録実現！



3

俗説の「かくれキリシタン」像への反論



「潜伏キリシタン」と「かくれキリシタン」の違い

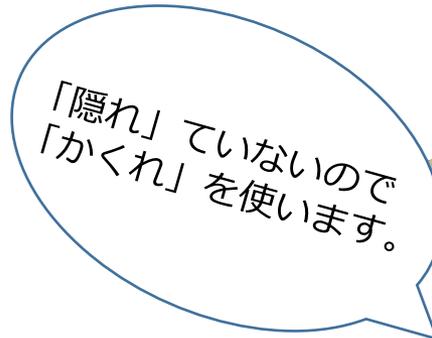
- **潜伏キリシタン**：禁教時代に信仰を密かに続けた人びと
- **かくれキリシタン**：禁教が解かれた後も、それまでの信仰のしかたを継続した人びと
※**仏教や神道のほか、様々な信仰を併存させた。**



キリシタン



潜伏キリシタン



かくれキリシタン

潜伏時代の信仰形態を、今も引き継ぐ。

布教期

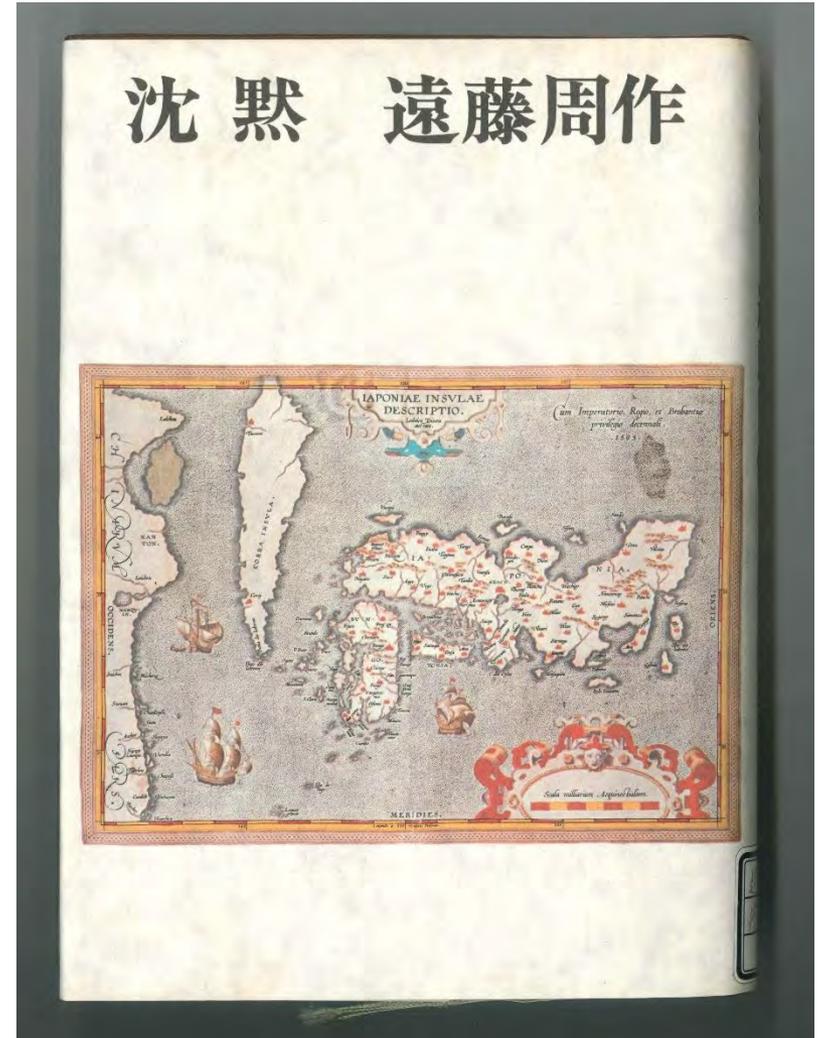
禁教期

復活期



「殉教しなかった弱き者」のイメージを作った遠藤周作の『沈黙』

幕府に処刑され、殉教する信者たちを前に、ガルペは思わず彼らの元に駆け寄って命を落とす。ロドリゴはひたすら神の奇跡と勝利を祈るが、神は「沈黙」を通すのみであった・・・





「弾圧を受けて離島へ住みついた逃亡難民」 という誤解





「教義を理解せず勝手に信仰を変容させた」とする現行キリスト教との隔たり

オラシヨ「ケレド」(使徒信経)の比較

①キリシタン『おらしよの翻訳』(一六〇〇)
萬事かなひ玉ひ天地をつくり玉ふ御おやでうすと
。その御ひとり子 我等が御あるじせずきりしと
を 真にしんじ奉る。(後略)

②生月島かくれキリシタン『舊キリシタン御言葉集』(一九五二)
万事に叶い給う天地を造り給いておの親でうす
の其の御一人子 我等が恩なるせずキリスタ真な
信じ奉る。(後略)

③復活直後カトリック『聖教日課』(一八七八)
バンジカナヒ給ヒ天地ヲツクラセ給フ御父天主
ソノ御ヒトリノ子ワレラノ御主ゼス、キリシト(後
略)

④現代のカトリック『公会堂祈祷書』(一九四八)
われは、天地の創造主、全能の父なる天主を信じ
、またその御独り子、われらの主イエズス・キリス
ト、(後略)

※内容は同じ。文句は①②③はほぼ同じ、しかし④
は文句が大きく異なる。

 冷凍保存された「かくれキリシタン」の
凄さ



お授け（洗礼）



中江ノ島でのお水取り
（聖水採取）

4

生月町における宗教 の連続性・共存シス テムと海の恩恵





弾圧に耐え抜いた団結力



ダンジク様 (山田)



黒瀬ノ辻殉教碑

オナワリ (山田)



お水取り、船上の祈り (山田)





あらゆる宗教との共存を実現する知恵



比売祇園行列（上）



比売祇園千人塚お旅所（右上）

須古踊り：法善寺（右下）





あらゆる宗教との共存を実現する知恵

受胎告知



聖母子と二聖人



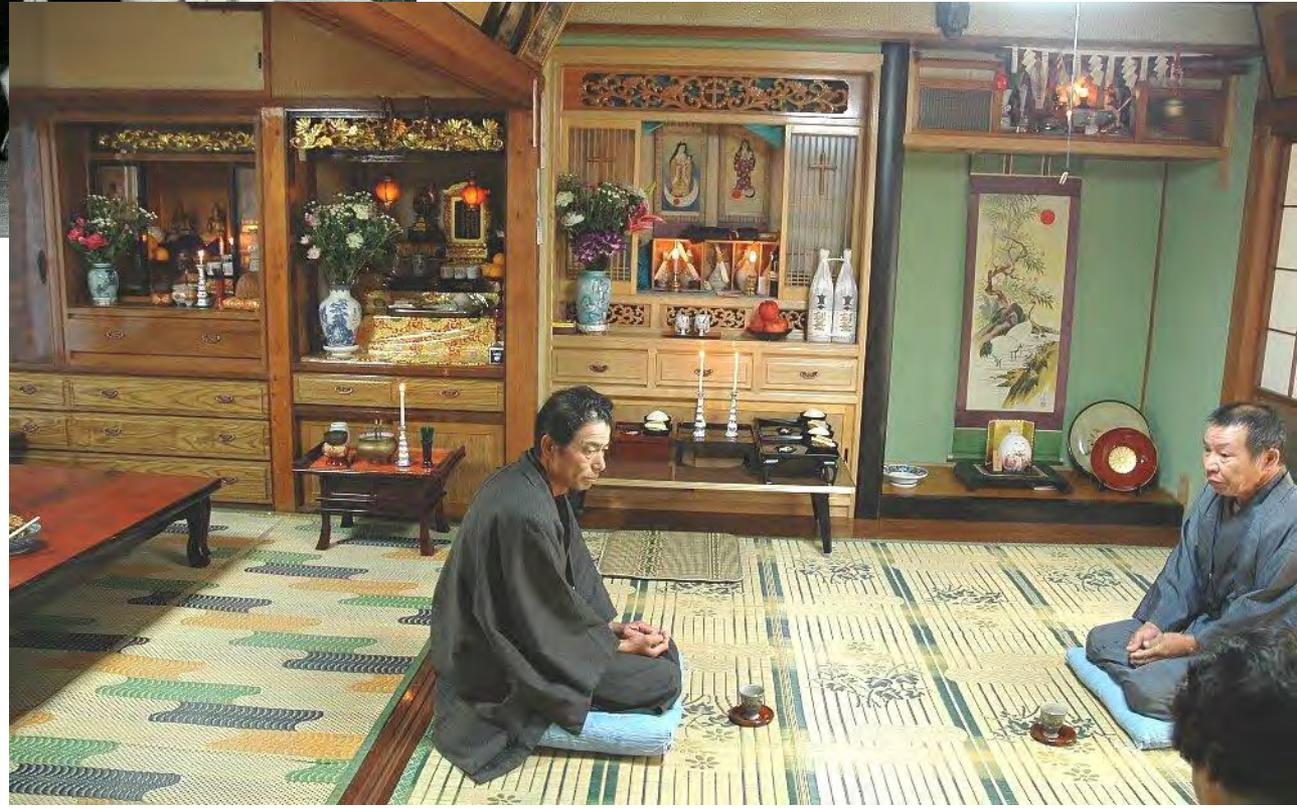
洗礼者ヨハネ



あらゆる宗教との共存を実現する知恵



明法院(天台宗)僧侶による
琵琶唱教による祈祷



生月町内の伝統的な仏間



捕鯨や遠洋まき網漁業



捕鯨（勇魚取絵詞）



まき網船団



県下屈指の港湾建設業



昭和初期の舘浦港

- 江戸時代に造られた突堤・堤防
- 明治～昭和30年代に造られた突堤・堤防

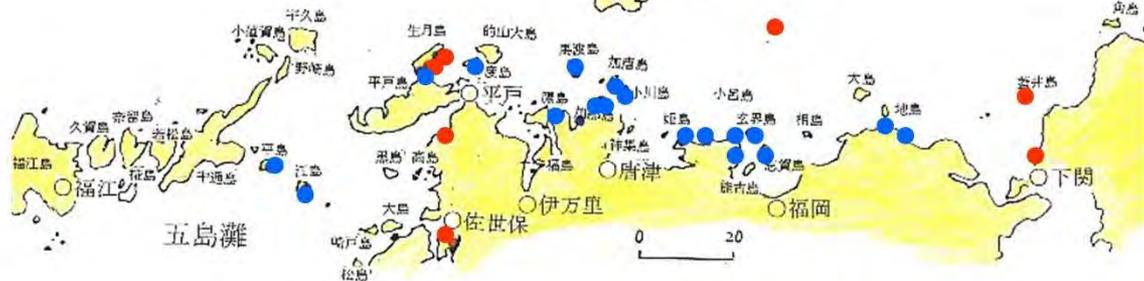


対馬

東シナ海



壱岐



生月積石工が築造した突堤などの分布
(コンクリート使用以前)



雄大な自然がもたらす貴重な恵み





雄大な自然がもたらす貴重な恵み



平戸から世界へ 世界遺産「安芸島」の清流と対馬海流の恵みを
いただき「すっきりとした瓶身」に仕上がりました。

平戸市長 黒田成彦
長崎一葉フーズ 代表取締役社長 坂本大地
中野漁業協同組合 組合長 綾香良一
長崎ファーム 代表取締役社長 良川忠必

株式会社長崎ファーム
平戸本マグロ
「極海一番」

第7回
長崎県
漁業振興
優秀賞
受賞

株式会社長崎ファーム
東京本社 〒135-0043 東京都江東区塩浜2-2-13
TEL 03-5634-2929 FAX 03-5634-2729
長崎支社 長崎県平戸市田平町山内免344-5

5

時空を超えた奇跡





「オラシヨ」と「グレゴリオ聖歌」の一致

壺部の唄オラシヨ 「グルリヨーザ」



- 壺部「ぐるりよーざ」（一番）

ぐるりよーざ どーみの、いきせんさ すんでらしーでら
きてや きやんべぐるーりで、らだすで さあくらをーべり

- 原曲聖歌「O gloriosa Domina」（皆川達夫）

O gloriosa Domina, excels super sidera,
qui te creavit provide, lactasti sacro ubere.

- 上記曲「輝ける聖母」の訳（加藤武）

輝ける聖母よ 星空越えてはるかに居ます御母よ
汝を造られた方を御胸により 清き乳房もて育まれた

※16世紀、イベリア半島で歌われていたグレゴリオ聖歌が伝わったもの。しかしイベリア半島では歌われなくなった。

トレント公会議(1545～63)でローカル聖歌を廃止する方針が出された事で、「O gloriosa Domina」は廃絶した。

(笠原潔『西洋音楽の歴史』)



世界遺産登録記念コンサートの実現

- **西本智実氏**（平戸名誉大使2013.11.1）
- 2013年『ヴァチカン国際音楽祭』でアジアの指揮者として史上初めて招聘。**「オラシヨ」の復元演奏**を行った。
- 2017年、平戸市長と「春日集落の棚田米」をローマ法王に献上するなど、平戸名誉大使として平戸市のPRに多大な貢献。
- 2018年10月「世界遺産登録記念コンサート」を平戸市で開催し、多くの来場者の中、平戸市長との対談やオラシヨの演奏を行った。





世界遺産登録記念コンサートの実現



6

まとめ



- 構成資産をいかにして保全していくか。

春日集落 ⇒ 棚田米の付加価値戦略と収益性の確保



西日本新聞 2017年(平成29年)11月21日 火曜

春日集落の棚田米で日本酒

森酒造場が発売

平戸
 平戸市新町の森酒造場は、世界遺産登録を掲げた「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の候補地である同市の春日集落の棚田米を原料に使った日本酒「Firando(ファイランド)」を販売している。
 世界遺産登録の動きにちなむ新商品作りにも、森雄社長が考案。ヒノヒカリに加え、集落の棚田で収穫された「シビカリ」を原料とし、発酵期間を通常の約半分、3週間程度に抑えて10度の低アルコールで甘味が残る「白ワイン」のような風味に仕上げた。1本500円、12本12000円、来春までに約4千本を生産する。銘柄名は「平戸」を示す大航海時代の西欧の表記を採用。瓶の裏書きで春日集落と殉教地・中江ノ島を写真入りで紹介している。森社長は「冷やして飲むのがお勧め。日本酒が苦手な人も飲みやすいと思う。春日の棚田米の用途を広げることで、棚田の維持につながれば」と言う。森酒造場(09550)2333



森酒造場が春日集落の棚田米を使って製造した日本酒「Firando」

月刊 2018年(平成30年)9月5日 水曜日 紙面編集・福見千成



かんころ餅 春日の特産品に

平戸

佐世保の業者と開発

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産、春日集落「平戸市春日町」の棚田米を使ったかんころ餅を新たな特産品にしようと、佐世保市で菓子製造・販売を手掛ける益加家(高木龍男社長)と地元住民が取り組んでいる。原料には新上五島町で収穫されるサツマイモも使用。同じ構成資産を持つ自治体間の連携を図り、活性化につなげたい考えだ。

サツマイモは新上五島産 世界遺産で連携

住民の棚田保全への機運、粒感の多い米は味を旨くする。高木社長(左)と業者のまら、1日夜、春日町公民館でづくり団体「香の里」春 住民らを招いた試食会があった。目講(寺田一男会長)に、高木社長は真空パック提案。高木社長は小粒で甘入りの縦約3センチ、横約2センチの一口サイズのかんころ餅、たいと語った。新上五島町かんころ餅を製造する機械を披露。湯やあぶり、電も羊の姿供給を見つけた。子レンジを使ったり調理で味見をしてもらい、参加者が品作す予定。(佐藤武郎)



高木社長と佐世保の業者ら

まとめ

- 構成資産をいかにして保全していくか。

春日集落 ⇒ 拠点施設「かたりな」におけるおもてなし



来場者1万人突破 平戸・春日集落案内所「かたりな」

河辺さん夫妻に記念品

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産、春日集落（平戸市春日町）の案内所「かたりな」の来場者が15日、1万人を突破した。

1万人目は、結婚55周年の記念旅行で訪れた神奈川県鎌倉市の河辺匡一郎さん（86）と環子さん（76）夫妻。「かたりな」に常駐するまちづくり団体「安満の里 春日講」の寺田一男会長（69）らから棚田米などの記念品を贈られた環子さんは「世界遺産登録を記念する年に人生の節目を祝うことができたい」と笑顔を見せた。

「かたりな」は、地元住民が観光客に地域の魅力や信仰の歴史などを伝える交流施設として市が空き家を活用して整備。指定管理者の平戸観光協会によると、オープンした4月の来場者は2,055人だったが、5月の世界遺産登録動告時から毎月約5〜8倍にまで急増。11月は14日までに12,277人が訪れている。寺田会長は「こんなに早く達成できると思わなかったが、さらに多くの人に春日の魅力伝えるために頑張りたい」と話した。（佐藤武郎）

1万人目の来場者となり、記念品を贈られた河辺さん（左から2人目）と妻の環子さん（同3人目）
＝平戸市、春日集落案内所「かたりな」

- 構成資産をいかにして保全していくか。

中江ノ島 ⇒ ボランティアによる漂着ゴミ清掃活動



2017年(平成29年) 7月31日 月曜日

「かくれの聖地」を美しく

潜伏キリシタン遺産
世界遺産へ

来年夏の世界文化遺産登録を目指す「長崎と天草地方の

平戸・中江ノ島

潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産で、「かくれキリシタンの聖地」といわれる平戸市の中江ノ島で30日、市職員有志らが初めてのボランティア清掃活動に取り組んだ。

同島は生月島の沖約3キに浮かぶ無人島。キリスト教信仰が禁じられた江戸時代に多くの信徒が処刑された。現在も禁教期の信仰形態を守り続けられている生月島のかくれキリシタンは、同島の岩から染み出る聖水のお水」を採取している。

清掃は、伝統文化が脈々と息づく島の価値を知ってもらい、景観保全の機運を高めようとする。平戸のほかに長崎、大村などから10人が参加した。参加者は生月島から漁船で島へ。岩場が多く漁船が接岸できないため途中で小船に乗り換え、かくれ信者が聖水を採取する付近に上陸。岩の隙間に入り込んだ、ペットボトル、空き瓶、発泡スチロールなどを約1時間にわたり拾い、ごみ袋19袋分を集めた。

約10年ぶりに上陸した平戸市生月支所長で、かくれ信者の船原正司さん(55)は「大切な聖地として、これからも美しい場所であってほしい」と願っていた。(佐藤武郎)

ボランティア清掃を終え笑顔を見せる参加者
—平戸市、中江ノ島

市職員らボランティアで清掃

まとめ

- 構成資産をいかにして保全していくか。

中江ノ島 ⇒ 「オーロ・生月・サリー号」によるクルーズ



中江ノ島や春日集落 間近に

生月の世界遺産観光クルーズ船試乗会

中江ノ島に接近した船上でオラシヨを唱える谷山さん

全運航などを願い、祈りの言葉オラシヨを唱えた。クルーズ船は月一金曜に原則貸し切りで運航する。毎月数回は乗り合い日を設定する方針で、今月は12、26日の予定。午前9時、午後3時、同4時半に館浦漁港を発航する。乗り合い料金は1人2300円。問い合わせは平戸観光協会 0950(23)8600。(福田章)

事件事故

◆車同士が衝突、女性死亡
4日午後10時半すぎ、平戸市中津良町の国道383号で、平戸市西中山町の保育士江口幸子さん(37)の乗用車と、

平戸 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録を機に12日から運航を予定している平戸市生月町の観光クルーズ船の試乗会が4日、同町の館浦漁港発着であった。同町で介護事業を営む「いなほグループ」と農事組合「アグリアクティブ生月」が、共同でオーロ・イキッキ・サリー号(乗客定員12人)を運航。約1時間の試乗では、地元のまちづくり関係者などが、かくれキリシタン信者の聖地中江ノ島へ接近したり、棚田で知られる同市の春日集落を眺めたりした。

中江ノ島付近では、同町元触地区の信者、谷山久己さん(67)がクルーズ船の安

まとめ

- かくれキリシタン信者の活動の継続

⇒ カトリック教会との関係

⇒ 担い手確保の課題



ふぐの日フォーラム基調講演「世界文化遺産登録記念」

平戸市の精神文化と産業

～今に生きるかくれキリシタンと海の恩恵～

ご清聴ありがとうございました。

平戸市長 黒田成彦